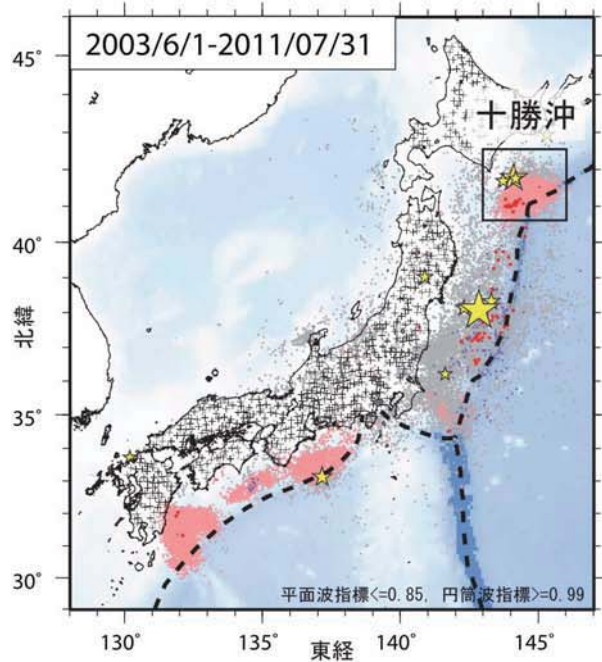


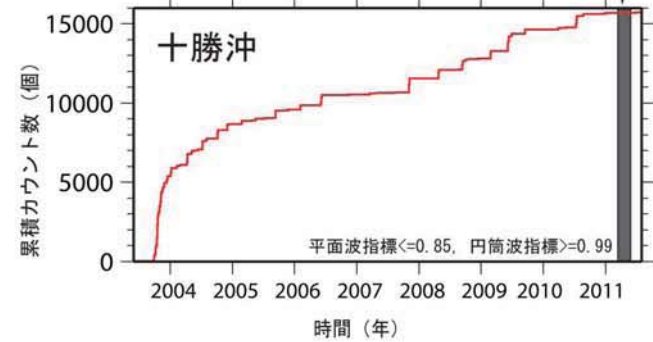
日本周辺における浅部超低周波地震活動 (2011年6月~7月)



- 東北地方太平洋沖地震発生後は通常の地震と超低周波地震との自動識別が困難.
- 6月23日から26日頃に、十勝沖でごく小規模な超低周波地震活動を検出.

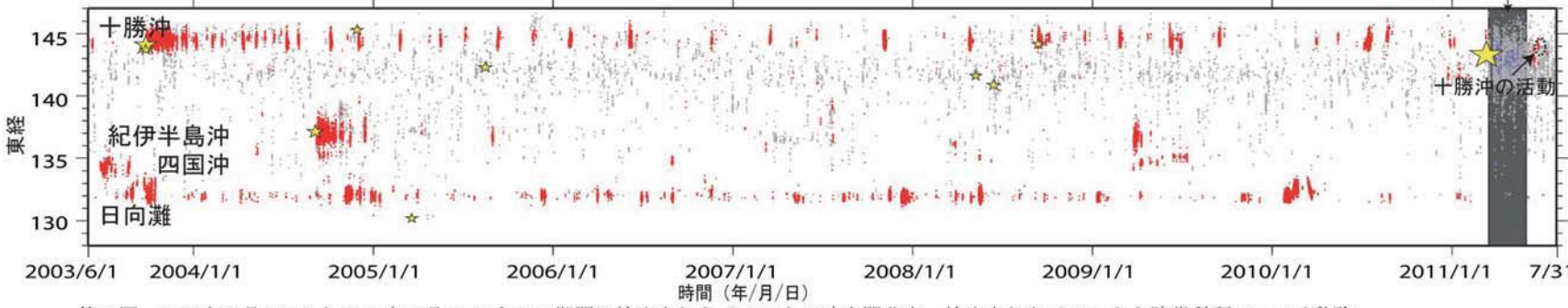
注) この期間 (東北地方太平洋沖地震の発生以降5月31日まで) 中は、カタログ中の地震と照合されないイベントであっても、その相当数が通常の地震と考えられる。

第1図. 2003年6月1日から2011年7月31日までの期間に検出されたイベントの震央分布. Asano et al. (2008) の手法によって検出されたイベントを防災科研 Hi-net の手動、または自動検測震源と照合し、対応する地震が見出されたイベントを灰色丸印で、それ以外を桃色 (2011年3月11日の東北地方太平洋沖地震の発生以前)、紫色 (それ以降5月31日まで)、および赤色 (6月1日以降) の丸印でそれぞれ示す. これらは、東北地方太平洋沖地震の発生以前については主として周期10秒以上に卓越する超低周波地震を表すが、それ以降は、除去しきれなかった通常の地震を多数含む. 期間内に発生した M7 以上の地震の震央を黄色星印で示す (ただし、3月11日以降は本震のみ).



第2図. 十勝沖における検出イベントの累積カウント数の時間変化. 幅60秒間の解析時間窓を15秒毎に設定し、それぞれの解析時間窓内にイベントが検出される度に1カウントと数えるよう定義した.

注) 第2図を参照.



第3図. 2003年6月1日から2011年7月31日までの期間に検出されたイベントの時空間分布. 検出されたイベントを防災科研 Hi-net 手動検測震源と照合し、対応する地震が見出されたイベントを灰色丸印で、それ以外を赤色 (東北地方太平洋沖地震の発生以前および2011年6月1日以降) および紫色 (東北地方太平洋沖地震の発生以後2011年5月31日まで) の丸印でそれぞれ示す. 星印は第1図に同じ.